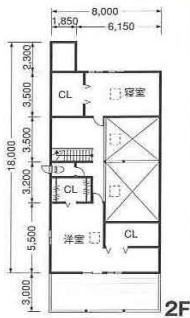
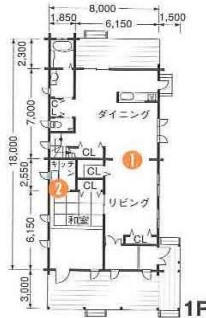


右／敷地面積592.8㎡に建つ、大型マシンカット・ログ 左／大空間のLDK。吹き抜けが心地いい。住む人が増えれば、この吹き抜けに床を張って部屋を増やすことも考えている



LOGHOUSE DATA

●使用目的＝住宅 ●敷地面積＝592.8㎡ ●延べ床面積＝222.7㎡ [1階＝129.9㎡、2階＝92.8㎡、デッキ・ベランダ＝69.6㎡] ●着工日＝2008年8月 ●完成日＝2008年12月 ●構法＝丸太組み構法(プロジェクトノッチ) ●使用ログ材＝パイン(サイズ＝11.3×18.0cm) ●基礎＝ベタ基礎 ●総工費＝3900万円・税込 ●設計・施工＝㈱フェニックスホーム ●輸入＝フィールグループ

間取りの Point!

① 広さに注目!

延べ床面積222.7㎡の広い空間。とくにLDKは間仕切りをなくし、広がりのある空間を演出

② 和洋室に注目!

将来子供たちと暮らせるようにキッチン付きの和洋室を設けた

二世帯生活を考えた ミニキッチン付きの和洋室

埼玉県北葛飾郡 N邸

縦長の敷地の形に合わせて、間口8m、奥行きがデッキも含め21mと細長い形のN邸。現在は夫婦ふたりだが、将来二世帯で暮らせるようにプランニングしたマシンカット・ログだ。Nさんが希望の間取り図を書き、メーカーに見せたところ、ほぼそのプランどおりになったという。

ポイントは今現在客間として使っている、将来のNさん夫婦用の、ミニキッチン付き和洋室。ゴロリと横になれる畳スペースとフロアリングのスペースがあり、フロアリングの

スペースには、囲炉裏テーブルが置かれている。デッキから直接入れるのも将来の二世帯生活のための工夫だ。みんなが集まるリビングなどパブリック・スペースは、吹き抜けのある開放感を重視。2階には個室を2部屋しかつくれなかったが、「もし部屋が必要になれば吹き抜けに床を張ればいい。いまは夫婦ふたりにはちょっと大きすぎだけど(笑)」とNさん。子供たちもふたりいるので、早く二世帯生活ができるようにと希望している。